

富山新港火力発電所2号機における潤滑油漏洩に伴う発火の原因と対策

2020年11月11日
北陸電力株式会社

当社の富山新港火力発電所2号機（定格出力：50万kW）は、11月9日、空気予熱器付近からの潤滑油漏洩に伴う発火を発見し、速やかに消火を行い発電を停止しました。（11月9日お知らせ済み）

その後の調査により、以下のとおり原因究明および対策を行い、本日（11月11日）0時27分に運転を再開しました。

■原因

（潤滑油漏洩原因）

- ・空気予熱器潤滑油系統ストレーナの組み立て不良により生じたパッキン部隙間から、潤滑油漏洩が発生した。

（発火原因）

- ・漏洩した潤滑油が、床面プレートの間隙から高温の空気ダクトに滴下しダクトの熱で発火した。

■対策

- ・潤滑油系統ストレーナの組み立て確認の徹底および組み立て後の空気でのリーク確認を行い取り付けた。
- ・高温の空気ダクトへ滴下しないよう床面プレートの間隙がない構造へ変更した。

地元の皆さまをはじめ関係の方々にはご心配・ご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。

当社は、今後も発電所のより一層の安全運転に努めてまいります。

以 上

添付資料：潤滑油系統ストレーナ構造（イメージ図）

潤滑油系統ストレーナ構造(イメージ図)

添付資料

